

平成25年度 第2回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 平成26年2月5日(水) 14:00~16:00
- 2 場 所 千葉ポートサイドタワー12階 千葉市教育委員会 第1会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 霜禮次郎会長、渡辺志げ子副会長、内山英昭委員、岡村太郎委員、小川直哉委員、谷藤千香委員、五月女重夫委員、増子みき子委員
 - (2) 事務局
生活文化スポーツ部長
保健体育課長補佐、学校体育係長、千葉市スポーツ振興財団事務局次長
スポーツ振興課長、課長補佐、担当課長補佐、スポーツ振興係長
スポーツ振興係員
- 4 会 議
 - (1) 開 会
 - (2) 挨 拶
 - ・千葉市スポーツ推進審議会会長
 - ・市民局生活文化スポーツ部長
 - (3) 議事録署名人選出
 - (4) 報 告
 - ①平成25年度スポーツイベントの実施状況について
 - ②東京オリンピック・パラリンピックへの千葉市の対応について
 - ③平成25年度千葉市スポーツ功労者について
 - ④第31回 教育・文化・スポーツ等功労者褒賞について
 - ⑤その他
 - (5) 議 事
 - ①千葉市スポーツ振興計画中間指標の見直し(案)について
 - ②千葉市におけるスポーツ・レクリエーションの推進について【提言】(案)
 - ③その他
 - (6) 連 絡
 - (7) 閉 会
- 5 議事の概要
 - (1) 千葉市スポーツ振興計画中間指標の見直し(案)と千葉市におけるスポーツ・レクリエーションの推進について【提言】(案)の2項目について審議された。
- 6 会議経過
 - (1) 開 会 14:00 委員10人のうち8人出席

(2) 挨拶

(霜会長)

皆さん、こんにちは。

今日は立春とはいえ一番寒い日に、お忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございました。

テレビではソチオリンピックの話題が全開で、いやがうえにもオリンピックムードが高まってまいりました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も決まりスポーツにおける関心が高まっております。

千葉市スポーツ推進審議会も、行政もスポーツ振興のために一生懸命取り組んでいただき業績を上げているところでございます。

本会も第2回ということで最終の会議でございます。熱心なる議論をいただきまして立派な千葉市スポーツ振興計画中間見直し(案)ができあがり、また本日も審議いただきます、市長に対する提言をおまとめいただきたいと思っております。

2年間の総まとめとしてよろしくご審議いただき、来年度にバトンタッチをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(生活文化スポーツ部長)

生活文化スポーツ部の小池でございます。本日は大変お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。また、皆様方には日頃より、本市のスポーツ振興・発展のため多大なるご尽力をいただいております。厚く御礼申し上げます。

我々のスポーツ振興につきましては、平成24年度に教育委員会から市民局に移管されて2年が経過いたしました。

所管変えの趣旨は、市民サービスの最前線の市民局にもってこくことで教育委員会はもとより福祉部門・経済部門と連携を強化して、更なるスポーツ振興発展の施策を展開していくという趣旨でございました。

この間いくつか成果を上げてきておりますので紹介させていただきますと、

福祉部門ですと、チームや大学と連携いたしまして、車椅子スポーツの振興を図るための新たな取り組みがスタートいたしました。

また、経済部門ですと千葉ジェッツなど、トップスポーツの集客を高めるための広報や、観戦者サービス、向上に努めたところでございます。

最近では資産経営部との連携で磯辺2中の跡施設へ、新たなスポーツ施設を整備する方針が決定いたしました。

また、つい最近はこれまでも大きな懸案事項でありました、老朽化が進んでいる、千葉公園体育館、プール・武道館を千葉公園内に再構築すべく進めていこうということの庁内合意を得るとこまろで辿り着きました。我々としましても、徐々にではありますがある程度成果が得られたと思っております。

本日はお手元にお配りしてあります次第にありますとおり、振興計画の中間指標の見直し案及び、これまで2年間の貴重なご意見をいただきました提言案について、ご審議していただくこととしております。

皆様方にはそれぞれの分野での高いご見識の元、忌憚のないご意見を賜りますことをお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

(進 行)

会長に議長を依頼する。

(3) 議事録署名人について

(議 長)

議事録の確定方法は、「予め指名された委員」による承認としたいと思いますが、よろしいですか。

(委 員)

<異議なし>

(議 長)

それでは、議事録署名人として、谷藤委員にお願いしたいと思います。谷藤委員よろしくお願いたします。

(谷藤委員)

<了承>

(4) 報 告

①平成25年度スポーツイベントの実施状況について

②東京オリンピック・パラリンピック プロジェクト推進本部の設置について

(議 長)

会議次第に従いまして、進めてまいります。

(4)の報告ですが、今回は報告事項が多いので2回に区切って報告をしていただきます。まず、①平成25年度スポーツイベントの実施状況についてと②東京オリンピック・パラリンピックへの千葉市の対応について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

事務局(スポーツ振興課)より、資料1資料2に基づき報告がなされた。

(議 長)

ただ今の報告について、質問などありますか。

(委 員)

スポーツイベントの実施状況についてですが、新規事業は次年度以降も継続されていくということなのでしょうか。

(事務局)

できる限り継続して行くつもりです。

(委 員)

確定はしているのでしょうか。

(事務局)

要望があれば続けていきます。

(委 員)

要望があればということなのでしょうか。

(事務局)

今回は、ご要望をマッチングという形で声をかけさせていただき、このような機会を設け

させていただきました。できればこれは継続してやっていきたい。待ちではなくて積極的にアプローチしながらこういったイベントをやっていただける機会を増やしていきたいと考えています。

(事務局)

補足しますが、市長のマニフェストにしたがって行っている中で、トップスポーツとの連携についても掲げられておりますので、積極的に取り組みたいという姿勢で臨んでいます。ただし、相手がある話ですので例えば平日にジェット戦をやるかどうか等内容については多少変わってくることもありますが、基本的には継続してやりたいと思っています。

(委員)

このようにいろいろな事業が増えていくことは、市民の方がそれによって楽しんで大変良いことだとおもいます。特に私は③トップスポーツと連携したイベントの18番目の白井地区の大相撲ふれあいイベントは、私自身相撲が好きなので、こういうものはほかの地区でもできるようにするとよいのではないかと思います。

(委員)

トップスポーツとの連携事業の参加者数の平均はどれくらいになりますか。

(事務局)

イベントにより、試合観戦や募集定員を設けているもの、区民祭りなど規模によって様々であり、これがどういう評価なのかということは我々としては検証していませんが、参加者の皆様には好評をいただいているところです。

(委員)

たくさん種目やクラブが主催している市民参加のイベントは他にもあると思うが、ここに載せたポイントは何かあるのでしょうか。

(事務局)

他に体育協会の各種目団体が主催し市民総体として行っているものもありますが、ここで掲げておりますのは、体育協会という組織ではなく、市民の方々が参加するという形の大会で、種目専門にやっているのではないイベントや、地域、例えば家庭ハレーボール大会など千葉市独自のレクリエーションスポーツとして発展してきている行事で、千葉市スポーツ推進委員連絡協議会が主催でやっており、千葉市も共催として行っている地域スポーツイベントを上げさせていただきました。

(委員)

④の障害者のスポーツイベントについてですが、障害者の大会の中で、このような大会の世話役は体育協会の方が福祉関係の方が、どのような方がお世話をされているのでしょうか。

(事務局)

イベントによりさまざまですが、例えば、一番上の日韓車椅子バスケットボール大会は淑徳大学の学生がボランティアというか学校の教育課程の一環で、大会の運営に携わっています。

ほかに、5番のウイルチェアラグビー日本選手権大会についての運営はボランティアとして国際武道大学の学生が事前の会場の準備をしております。あとは各チームにスタッフのボランティアがついており、その方々が運営に携わっております。現在の千葉市の福祉のボランティアや体育協会の方々のお手伝いは今のところございません。ちなみに過日行われたウイルチェアラグビー日本選手権には、スポーツ振興課職員も行って床のセットのお手伝いをさせていただきました。

(委 員)

この表に挙げられているのは、車椅子スポーツに限定した障害者スポーツということですか。他にも障害者のスポーツはたくさんやっていると思いますがここにはない訳は。

(事務局)

障害者スポーツは福祉部門（障害者自立支援課）で全国障害者スポーツ大会やゆうあいピックなどの大会を所管しております。

今回スポーツ振興課で振興していこうとしている障害者スポーツというのは、おもにアスリートスポーツとしての位置づけられている障害者スポーツで、とりわけ市長のマニフェストにもあるように車椅子スポーツ、これは障害者スポーツとしても歴史が古くわかりやすいということで、先ずこれを足掛かりにしてそれに力を入れていくということです。

(議 長)

千葉市を美しくする会の会長を仰せつかっておりましたが、その中の事業として、健康部会というのがあり、史跡散歩としてウォーキングなどに取り組んでいます。また、親子三代夏祭りでは、千葉踊りやよさこい踊りなどが若い年代からお年寄りまで幅広く楽しまれています。このような舞踊なども今後、少子高齢化現象が進む中で、無理のない楽しめるスポーツ・レクリエーションという考えのもとで幅を広げてみてはどうかと思います。ご検討をいただきたいと思います。

もうひとつは、先ほどの質問にもありましたが、障害者スポーツがこの度、オリンピック・パラリンピックという名称がついておりますように、従来、スポーツは文部科学省、障害者福祉は、厚生労働省と縦割りであったものを、国レベルでスポーツ担当省として一本化される動きがあるようです。従来から私はそうあるべきと考えておりましたが、それと同じような動きで千葉市が取り組まれるということは素晴らしいことだと思います。

後程、提言のところでもお話しますが、新しい試みとして、全市民参加型のスポーツとするならば、これで障害者のスポーツを充当すると、全ての市民に当てはまり、非常に素晴らしいことだと思います。今後とも幅広く大会を開催し、市民とともに障害者も分け隔てなく参加できるようにしていただきたいと思います。

(議 長)

次に、報告（3）の「平成25年千葉市スポーツ功労者について」と報告（4）「第31回教育・文化・スポーツ等功労者褒賞について」、スポーツ振興課よりお願いします。

(事務局)

スポーツ振興課より、資料3資料4に基づき報告がなされた。

(議 長)

何かご質問はありますか。

よろしいでしょうか。

それでは次に（5）その他について事務局ありますか。

(事務局)

特にありません。

(議 長)

それでは、次に議事に入ります。

議事1 千葉市スポーツ振興計画中間指標の見直し(案)について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

千葉市スポーツ振興計画中間指標の見直し(案)について説明がなされた。

(議長)

たいへん膨大な振興計画ですが何かご意見はございますか。

(委員)

76番のスポーツコーチャーの派遣についてですが、私もスポーツコーチャーとして登録しておりますが、小学校中学校からの依頼は、年間で何回くらいありますか。専門部長会議では千葉市のスポーツ教室のことばかりがクローズアップされており、あまり小学校中学校への講師派遣の話題が出ておりません。私も十数年コーチャーをやっていますが、過去に花園小学校に2回だけPTAに呼ばれたことがあります。あとはないのですが。

(事務局)

学校への派遣実績は、ほとんどないという状況で、年に1~2回程度という状況です。学校教育課程の中でコーチャーの派遣というカリキュラムはなかなか組んでいただけないようです。学校サイドでどう活用するか判断を任せている状況なのでこのようなこういった実績になっているものです。

(委員)

実は、数年前に私が行っている中学校の教務の先生からソフトボール部の顧問がいなくて誰か知っている指導者はいませんかと尋ねられたとき、千葉市にはスポーツコーチャーという制度があるから聞いてください、と言ったところ学校現場の方は知らなかったの。学校現場にも、少しPRしてはどうでしょう。そうすると活性化になると思います。

(事務局)

PRが不足している部分もあると思います。学校現場でもコーチャー制度を理解していないところもあると思いますので、告知をしていきたいと思います。ありがとうございました。

(委員)

28番のコミュニティスポーツクラブの推進については現状維持となっておりますが、「コミュニティスポーツクラブ」のイメージとしてはどのようなものなのでしょうか。

(事務局)

千葉市では総合型地域スポーツクラブが市内7か所あります。コミュニティスポーツクラブは総合型地域スポーツクラブより大きな枠で、更に広域なものイメージがあり、現在国でも研究している状況で、県からも示されていない状況です。

(委員)

確かにイメージがわからないのかもしれないということですね。

(事務局)

具体的に何か国から示されていない状況です。好事例として確固たるものが示されたら検討していこうと考えています。

(委員)

うまく説明できるかわかりませんが、新しいスポーツ立国戦略が出た時に総合型スポーツクラブが、スポーツだけではなくコミュニティの中で機能していったらよいということを踏まえて「コミュニティスポーツクラブ」という表現が出てきました。そのあとスポーツ基本計画が出た時には「コミュニティスポーツ」という表現がなくなって、「総合型スポーツ地域クラブ」を進めることとなり、その中で全国のクラブの中で核になる「拠点クラブ」というもっと広範囲に活動するちょっと特別なクラブの形態を進めようというような流れになり、

きっとこのことをイメージしたのではないかと思います。あまりコミュニティスポーツクラブという表現が使われなくなっていました。ちょうどこの市の計画ができた時、スポーツ立国戦略が出た後でスポーツ基本計画の出る前だったので、この表現を取り入れたというような状況を記憶しています。最近表現としてはあまり使われておらず、もともとはスポーツの振興だけではなく、それを通じて地域を活性化しようということが「コミュニティスポーツクラブ」という表現になったと認識しています。

(事務局)

ありがとうございます。

(委員)

今の話ですと、スポーツ基本法が制定されたのが平成23年でしたが、「総合型地域スポーツクラブを各市最低一つはつくる」という文科省の方針があったと思いますが、コミュニティスポーツクラブというのはそれより大きな枠なのですか。

(事務局)

理念としてコミュニティスポーツクラブというのがありますが具体的にこれだというのがありません。

(委員)

どちらかというと、大きいというより地域にということなのでこの話が出た直後には全国で一万というような表が文部科学省から一瞬出たのですが、あまりその後言われなくなりました。むしろここでは28番はそっとしておいて27番の方を大事にした方がよいと思います。

(委員)

関連して、先ほど総合型地域スポーツクラブが市内に7か所あるとお聞きしたのですがこれは27番のことを指すのですか。

(事務局)

はい27番を指します。

(委員)

それでは、総合型地域スポーツクラブが増えていくことが望ましいと考えておりますか。

(事務局)

はい、新しい公共の形として総合型スポーツクラブがありますが、地域でそのような機運が高まって、地域でスポーツを振興していく核になるものとしては良い制度だと考えております。

ちなみに増子委員は総合型を幕張西でやっていただいております。非常に成果をあげております。文部科学大臣賞を受賞されるなど活動をしていただいておりますので、その辺のところは増子委員さんがご存知と思いますが、行政だけで推進するのではなく地域で担い手になっていくことが理念ですので、どんどん増えていくことが望ましい形ではないかと考えています。

(委員)

その7か所はどこにあるのでしょうか。

(委員)

各区に1か所ずつあります。美浜区は幕張西、中央区は蘇我、花見川区は花園、稲毛区は稲丘、緑区は誉田、若葉区は桜木にあり、稲毛区には県の施設を利用した天台SVがあります。

本当に手探りでやってきましたが、最初は行政の方からイロハを教えていただきながらやってきました。準備期間がすぎたら本当に自分たちでやらなくてはならなくなりましたが、最初からそのスタンスでやりましたので、独り立ちをする契機を作ってくれたと感じています。

習志野市などは、ずいぶん行政が関わっていて、傍から見ると「うまく運営している」とか「行政からの支援がすごい」と感じていますが、本当は会員が自分たちのクラブをしっかりと支えていかなければならないということが私たちはわかってきました。一人歩きできるようになりましたが、そのためには時間も人もお金も必要で、とくに、経済的にそれに見合った活動をすればよいということですが、人的な役員の支援にかかわっていきますので、新しい役員を入れるということが困難を極めてきます。これからその辺を考えていかななくてはならないと考えています。

運営は現在のところできています。

(委員)

各区に少なくとも一団体はあるのですね。どの団体も運営方法はおなじなのでしょう。

(委員)

それぞれがいろいろなやり方でやっています。例えば幕張西と花園の運営の仕方は違います。それぞれに悩みながらやっているのではないかと思います。

(議長)

論議をして建設的な意見をいただいているところですが、コミュニティスポーツクラブ、総合型スポーツクラブなどいろいろありますが時間がありませんら後程論議を深めていきたいと思えます。そのほかにありますか。

(委員)

45番の高齢者スポーツ広場事業というのがありますが、どのように設置され、管理されているのか具体的にお話を伺いたいのですが。

(事務局)

高齢者スポーツ広場は福祉部門高齢施設課で所管しております。この事業はゲートボール場のことで、ゲートボールが非常に盛んに行われるようになった時期があり、当初、ゲートボール場設置の要望が多くあり、その中で千葉市の保育所の予定地や学校予定地など未利用地となっていた市有地に暫定的に高齢者スポーツ広場という名前でゲートボール場を整備し、運営されている事業です。未利用地の暫定利用ですので使用目的が定まった土地から順次廃止するものができているということです。

(委員)

高齢者のスポーツについての動きなのですが、元気な高齢者の方が多くなってまいりました。ゲートボールという種目は過去のスポーツとなっており、むしろ今はグラウンドゴルフが盛んに行われております。そのためにはゲートボール場よりもっと広い場所が必要なのではないかと思いますが、そのへんの見直しもしていかねばならないと思います。それとウォーキングを含めて足のスポーツに対して関心を持っているようですので、足を鍛えたり、腹筋を鍛えたりするような遊具を公園に置くなどの整備していくお考えはないですか。

(事務局)

ゲートボール場は競技人口とニーズが減ってきてしまいました。一方でグラウンドゴルフが盛んになってきております。たしかにかなり広い場所が必要となってきますので、場所を確保することは課題であると認識しております。ウォーキングの関係ですが手軽に行えるスポーツとしてウォーキングやジョギングがはやっています。やっている人達の数も増えてきています。これは健康維持にとって非常に良いことだと思っております。公園で足腰を鍛える遊具についてですが、スポーツ振興課としては公園を所管しておりませんので直接携わっておりませんが、そのようなニーズがあるということは公園の管理所管課にお伝えをしていきたいと考えております。

(事務局)

グランドゴルフに対しては確かに問題意識を持っていかなければならないと思います。福祉部門が地域で必要があるということで、たとえば花島総合公園の中に地元からの要望で整備したという事例もあります。そのようなこともございますので今後できるだけそのような取り組みをしていきたいと思っております。

公園に関しましては、遊具が古くなってきており、計画的に交換を行っています。そのなかにこのような要望を取り入れられないかという話は今まであまりございませんでしたので、今回の審議会でこのようご意見があったということをご私の方から公園の方につたえておきます。

(委員)

106番のスポーツ医科学の活用体制の構築についてのところで、スポーツドクターや大学との連携・協働した体制の構築に努めるとありますが、具体的に行政が行ったことで、スポーツ指導者に対する医学的見地からの講演会開催について検討したとあり、今度3月2日に中村先生の講演会がありますが、それはこの項目を具体化したものですか。

(事務局)

スポーツ医科学の活用体制の構築については、まだ具体的なイメージは定まっておられません。スポーツ振興のなかに今後どのように入れていくのか、例えば体育協会に所属するのか地域スポーツにおけるものなのか、まだ方向性というものは見いだせておりません。しかし、こういったものの重要性が提唱されておりますので、先ず我々としては医師会と連携をして、こういった委員会に出席させていただいたり、医師会の取り組みをスポーツの講習会において講演していただいたり、それをきっかけにして何ができるのかを今後展望していきたいと考えております。

(議長)

その他に何かありますか。それではないようですので、今後この指標により振興計画の進捗状況を管理していくということによろしいでしょうか。

(委員)

<承認>

(議長)

次に、千葉市におけるスポーツ・レクリエーションの推進について【提言】(案)について、事務局、説明をお願いします。

(事務局)

千葉市におけるスポーツ・レクリエーションの推進について【提言】(案)について、説明がなされた。

(議長)

長くなりましたが、要点は2つあります。最初にトップスポーツとの連携の推進について、次に障害者とのスポーツ交流の促進についてご意見を伺いたいと思っております。

(委員)

千葉ジェッツのホームゲーム4回誘致とありますが、年間の試合数は何試合くらいあるのでしょうか。

(事務局)

24年度の実績で年間47試合行われております。

(委員)

47試合のうち4回を千葉市に誘致するということですか。

(事務局)

昨年の10月からBJリーグからNBLに所属リーグが変わり年間54試合になります。拠点が船橋市ですから船橋アリーナが中心になりますが、それを千葉市民にも見てもらおうと我々が連携をしてやっています

(委員)

提言というのは、審議会として市長に出されるものですね。

文章表現について、4行目に「まず」と表現しているが、そうするとどこかに「次に」が入ると考えますが、そういう文章表現になっていません。「次に」は何を書きたかったのでしょうか。

(事務局)

「まず」は取りたいと思います。

(委員)

いらないでいいですか。

(事務局)

これは文章表現を見直したいと考えます。

(委員)

「本審議会は、平成24年度7月から、千葉市スポーツ振興計画の進行管理と、スポーツ・レクリエーションの推進について、…」と書いてあるので、そうすると、一つはスポーツ振興計画の進行管理のことで、スポーツ・レクリエーションの推進に関するものの2つについての観点で書かれたらよろしいのかと感じました。

それから、スポーツ振興計画の部分の説明が抜けていますが、必要なから入れなかったのか、その辺がよくわからないのですが、下から10行目のところには振興計画の進行状況について触れていることは触れているのですが、それだけの触れ方でよいのか。ということですが。

というのは先ほどの見直しで話した事業とか、新たな指標をつくった事業とかがありましたね。そういったものを含めるのかと思ったのですが。

(事務局)

確かに、その部分でご審議していただいた経過が前書きに反映されておりませんので、まずスポーツ・レクリエーションの推進の部分についてと、進行管理の部分についてで、進行管理の部分は、今までご審議いただいたことを踏まえて少し厚みを持たせて文言整理をさせていただきたいと思います。

(委員)

前回の23年度に出された提言と比較させていただきましたが、前回は全体的に文章表現で書かれていて、多少項目も違うのですが、これは今年度用として新たに考えられたと思います。あえて、例えばトップスポーツとの連携推進についてと1ページに入れられている。障害者のスポーツの交流促進についても1ページにまとめられています。これは意図してそうされたのでしょうか。その辺の前回との表記の違いについて、説明をいただければと思います。

(事務局)

前回の提言とガラッと変わっております。前回はかなり文章表現の形でありました。今回見直したのは、項目を2つの柱にしたことと、項目ごとにすべきことを(市が取り組むべきこと)を明確にするために提言として3つ重点を上げるなどよりわかりや

すく提言としてまとめたということです。前回のものはかなり良く読み込まないとわからない提言案になっていたかと思います。今回はポイントを絞り、こうすべしというものを明らかにするために見直しました。

(委員)

たぶんそういう感じでまとめられたのかと思っていました。わかりました。

(委員)

全体として「トップスポーツ」と「障害者スポーツ」ということで、それぞれとても大事なことと思うのですが、市としてということを見ると、もっと市民全体のスポーツを活性化するというのを、もっと前面に出してほしいと思っています。

市長さんはここに力を入れているので、逆に審議会としては足りていない点を、意見として言えるとよいと思っています。この2つの柱を尊重しなければいけないならば、トップスポーツとの連携というのは、市民を活性化するため「市民がトップスポーツを観に行くこと」や、「トップスポーツの人が地域に何かをする」というところから始まったので、単に観るとかジュニアアスリートの刺激という観点ではなく、「市民のスポーツ活動が活性化するために」という点をもっと打ち出していきたいと思っています。とりわけ、東京オリンピックに向けてということが前面に出てしまうと、この振興計画が次の改定の時にも、まだ「東京オリンピックに向けて」が続いてしまうので、このままになってしまいます。したがって、もっと市民のスポーツの部分も入れていただきたいと思っています。

(議長)

はい、大変結構なご意見ありがとうございます。

これは、委員のおっしゃる通りで、「はじめに」の下から三行目の「千葉市のスポーツ・レクリエーション推進のため」いままで検討してきましたが、更なる発展、推進のため、この次の二項目を提言するという形にならなうか、ということだと思えます。

「スポーツ・レクリエーション推進について」の提言の2つの柱「トップスポーツ」と「障害者のスポーツ」がなぜ必要なのかという点につながると思うので、それは文言の修正加筆によって意味合いが深まるというご意見だと思います。

(委員)

提言1のところは1・2・3とありますが、1も2もトップスポーツがどうするかという観点なので、それを1つにして、2番にトップスポーツが「地域と強く連携しながら活動する」という点や、「市民のスポーツ活性化につながるようにする」という点を入れるとよいと思います。

(事務局)

委員さんのご意見として、提言1の中にトップスポーツの地域活動を契機として「市民スポーツがより振興発展する」、「さらに活性化していく」といった観点の文言の案文を作り、後日お示しし、ご賛同いただきたいと思っています。

(議長)

はい。よろしく願いいたします。そのほかにもございますか。

(委員)

トップスポーツとの連携の推進について、現状と背景の書き出しが6行目まで一文でつながっており、主語と述語がわからなくなっているため、どこかで区切った方がよいと思います。「～充

実している。」で区切り、「しかしながら～」等の接続詞を入れて表現したらよいと思います。

(事務局)

はい、そのように修正させていただきます。

(議長)

はい、よろしいでしょうか。

(事務局)

はい、こちらの方で文言を今一度修正させていただきます。

(議長)

それでは、提言1、2、3含めてこのように提言させていただきます。

次に、障害者とのスポーツ交流促進についてですが、なにかご意見はございますか。

(議長)

この点はスポーツ振興課としては新しい取組なので非常に迷っている点があるかと思うのですが、例えば市長のローカルマニフェストによって車椅子と言っていますが、障害者といっても、様々なケースがあります。

車椅子という身体障害者のスポーツに限定せずに、障害者スポーツ全般に目を向けるような言い表し方をしたらよいのではないかと思います。

(事務局)

はい、この「障害者スポーツのまち」というのはローカルマニフェストに掲げられております文言をそのまま使わせていただいております。障害者といいますがあらゆる障害がそこに入ってくるという概念ですので、知的・視聴覚・身体これをひとくくりにすると障害者ということになります。車椅子だけクローズアップされているかというところではありません。千葉市には、前回のロンドンパラリンピックで世界新記録を出して金メダルを取った田中康大選手は知的障害者の水泳ですが、そういった素晴らしいアスリートがおりますし、車椅子スポーツも進めていくわけですが、他の障害の方々のスポーツもアスリート支援という意味合いで、我々もきちんと支援していくつもりです

文言については障害者スポーツと謳ってありますのであらゆる障害も含まれると思うのですが、いかがでしょうか。

(議長)

市長さんの意見では、市民は車椅子に乗っていれば障害者であるということがわかるということですが、視聴覚障害者は、見た目では、障害の有無について、わからないということ。広く理解を得ることは、とても重要です。もう一つは車椅子の競技ができる施設とできない施設があり、例えば車いす用のトイレがあるかがとても重要でありどこでもできるわけではありません。ですから、車椅子の選手用の施設があるかどうか。いままでの実績をみますと、例えば、蘇我の勤労者センターとかポートアリーナなどは施設が完備されていますのでできると思います。

車椅子バスケットボールは迫力があり、見る側としては、おもしろいので市長杯とし広く市民に知らしめることはよいと思います。

他に何かございますか。

ないようでしたら、私は30年間射撃に関わっておりますが「身障者を国体へ」という運動を続けてきました。現在も障害者射撃連盟の会長を仰せつかっております。最初は福祉の観点から、訓練などの目的で障害者に「スポーツをさせる。」或いは「して頂く。」というところから始めます。障害者の施設に行き、射撃大会をやりまし

ょうという、最初はびっくりされる。そのような中から選手が出てきて、やがてパラリンピックの育成者が出てくる。障害者スポーツを取り巻く環境は、金銭的な面を含めて厳しいものがあります。指導者と行政の労力が、非常に大変ですが、そのことを踏まえて、ここで障害者が気楽に参加できる環境づくりというのはとても大切なことだと思いますので、大変すばらしい提言だと思います。ですから、市長に提言をして、千葉市がメッカになるようにがんばっていただきたいと思います。

そのほかになにかありますか。

(委員)

提言 2 の (3) のところはピンポイントすぎると思います。東京は抜かした方がよいと考えます。「パラリンピックに向けた～」くらいでよいと思います。

個人的にはバドミントンはパラリンピックにないのでよいと思いますが、そこにラグビーがあるかわかりませんが、もう少し幅を広げて、さらに「車椅子スポーツも～」という部分も「障害者スポーツ普及促進のためのソフトハード両面の環境づくり～」くらいに幅を広げていただけたらよいと思います。

(事務局)

東京というものが柱にあったのでそのように書かせていただきましたが、これからリオもごさいますしパラリンピックもずっと継続するわけですので、東京は除いて「パラリンピック～」とさせていただきます。

車椅子スポーツもピンポイントすぎます。これだけ行うつもりではありませんので「障害者スポーツ」と改めさせていただきます。

(議長)

ありがとうございました。それではそのように修正していただきたいと思います。その他に何かありますか。

なければ、二つの提案各々修正をしまして、後日「千葉市におけるスポーツ・レクリエーションの推進について」の提言を市長に提出したいと思います。今後については会長に一任していただきたいと思いますのでよろしいでしょうか。

(委員)

<承認>

(議長)

ありがとうございました。私が責任を持って提言書を提出させていただきますのでご了解をいただきたいと思います。

4 時まで 10 分ほど時間がありますので、各委員の皆さんに一言ずつお願いしたいと思います。

(委員)

地域全体で力を出し合っている行事として地区運動会がありますが、これを全体的にいきわたるようにすることがコミュニティづくりとなり、人と人とか繋がっていき、安全安心な街づくり、次代を担う人づくりに繋がると思いますので、この辺を前面に打ち出していければよいと思います。

(委員)

私は千葉市の学校体育施設開放をやっておりますが、今、学校の統廃合が多くあり、今まで活動していた時間が取れなくなっている地域があり、これをどうしたらよいか考えていかなければならないと思っています。

(委員)

私は現職の時ほとんど学校体育にかかわってきたので、社会体育の方は本当に無知なので、学校体育について、千葉市は本当に充実している市ではないかと思っています。それに合わせて社会体育の方も事務局の方々の努力によって充実されてきていることを感じています。

私はこの委員に4年間かかわってきましたが、毎回事務局の方には膨大な資料を準備していただき、私はそれを見て勝手なことばかり言ってご迷惑をおかけしたと思いますが、個人的には知らないことをたくさん教えられた気がします。勉強になりました。

(委員)

私は市の体協の立場で参加しました。体協は今39種目団体ございますが、障害者の大会があるのは5種目団体です。霜会長からお話があったように、スポーツの方は文部科学省、障害者、福祉関係は厚生労働省という縦割りの関係ができております。提言の中にも出ていますが、大会をやるにも各種目団体の障害者をサポートする人材の育成や障害者スポーツ指導員の養成が急務となっており、体協としても協力し、努力していきたいと思っております。

(委員)

私は少年スポーツの立場から参加させていただきました。子供の絶対数が減り、学校も統廃合で校数が減り、また、スポーツをする子が限られてきてしまって、場所もないという現状があります。私自身が行政と少年スポーツ振興のかけはしになればいいと思っております。いい勉強をさせていただきありがとうございました。

(委員)

私は地域スポーツ振興が専門で、根っから現場で少しずつということを考えていますが、千葉市は大きな市ですから、大きなイベントができる場所がありますし、プロスポーツチームもあります。兎角そちらの方に目が行ってしまうのですが、そこをチャンスと捉えて、地域の人々が大きなイベントやプロスポーツのチームが大好きなので、それをきっかけに地域の人が活性化したらよいという思いで2年間参加致しました。

(委員)

スポーツ指導員連絡協議会では地域スポーツ振興をメインに取り組んでおります。そのなかで、今年度初めて障害者スポーツということに目を向け、事業として障害者に対するスポーツの取り組みをどうしたらよいただろうかということテーマとして研修会を開くことになりました。私たちが地域の中で障害者のスポーツ振興に一番かかわりのある対象者だと思っておりますが、障害者のスポーツについては全然わかりません。ですから研修を通してイロハから勉強していきたいと思っております。研修会を開催し、これからまたイロハから勉強です。

(保健体育課)

保健体育課では、学校での体育・保健体育学習、運動部活動等を通して、スポーツ・運動に親しむ子どもたちを多く育てていきたいと思っています。そうすることで、体力向上や健康の保持増進に努めてまいりたいと思っています。

今後、小学校・中学校の各種大会等を行う際には、小中体連と互いに連携を取りながら進めていきたいと思っております。

(スポーツ振興財団)

スポーツ振興財団はポートアリーナ等の施設を管理しております。千葉市とは外郭団体として、施策にのっとった運営に心がけているところです。審議会に出席し、実際に委員さんの考えのもとで千葉市の考え方も決まっていくのだなあということを実感いたしました。今までと違ってこ

のように、いろいろなご意見の中で考え方が決まっていくことがよくわかりましたのでこれからの運営の中に、より考え方が浸透するようにと考えております。

(スポーツ振興課)

冒頭で部長が申し上げました通り、教育委員会から市民局に所管が変わり2年が経過しました。その間徐々にやるべきことが見えてきた感じがします。我々としてはスポーツをする人を増やしたい。たくさんやってほしい。そういう気持ちで行っております。

幅広く施策を展開する中で、地域スポーツの問題であったり、学校体育施設開放での統廃合による活動場所の確保や団体間の問題だったり、いろいろな課題が山積しておりますが、皆様のご協力をいただきながら、調整をしながら、より良いスポーツ環境をどのように適合していけるかをひたすら追い求めていきたいと思っております。また皆様のお力をいただきたいと思っております。

(議長)

ありがとうございました。「スポーツ都市 ちば」よろしくお願いします。

それではこれを持ちましてスポーツ推進審議会を終了いたします。皆様のご協力に感謝申し上げます。これで終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

それでは事務局にお返しします。

(進行)

会長、議事進行ありがとうございました。事務局から何か連絡はございますか。

(6) 連絡

(事務局)

閉会後に皆さんにご相談したいことがありますので少しお時間をいただきたいと思います。

(7) 閉会

(進行)

それでは、最後に小池生活文化スポーツ部長からお礼を申し上げます。

(小池部長)

2年間にわたり委員の皆様方には貴重・ご要望をいただき厚く御礼申し上げます。我々も今後スポーツ振興に取り組んでいきますが、いただいた意見を参考に活用させていただきたいと思っております。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けまして千葉市が頑張っているな、面白いことやっているな、というように注目されるようなものをしていきたいと考えておりますので、委員の皆様方にはこれからもそれぞれの分野から引き続きご指導いただければと思っております。どうもありがとうございました。

(進行)

これを持ちまして、千葉市スポーツ推進審議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

16:00終了